

## 箕谷少年野球入部の為のQ & A

Q 1 : 練習はいつ、どこで 何時～何時ですか？

A 1 : 定時練習は原則土曜日と日曜日、祝日です。

終日の場合 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 ( 冬季は 1 6 : 0 0 まで )

午前みの場合 9 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0

午後みの場合 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 ( 冬季は 1 6 : 0 0 まで )

3年生以下の低学年は半日の練習もあります。

練習場所は他団体とローテーション利用のグラウンド1面(小学校・大原山公園)、その他、北区(神鉄六甲付近)及び西区(学園都市付近)のグラウンドを使用しております。

Q 2 : 休日を練習日にしているので家族との時間がなくなるのでは？

A 2 : 入部前と比べると家族全員が一緒にいる時間は確かに少なくなるかもしれませんが。逆に、野球の話題でお父さん・お母さんと共通の話題が増えるケースもあるので一概に家族との時間が少なくなるかどうかはわかりません。野球をやらない兄弟などがおられる場合は、保護者の心配りは当然必要になってきます。状況に応じてバランスを取って頂ければと思います。

Q 3 : 家族と過ごすために練習を休むと、他の人から遅れをとって試合に出られないのでは？

A 3 : 野球はチームスポーツのため練習も試合も選手全員で取り組んでいきます。

練習を休むからではなく、遅れをとる事によって試合に出る機会が少なくなることもあるかもしれません。出場選手は本人の日ごろの練習の成果・結果と試合の状況により監督が決めていきます（監督の専権事項）。よって練習に沢山参加しても控えの場合もあります。子供も目の前にあるライバル、課題に直面し結果はともあれ自ら乗り越えようとする気持ちが芽生えてきます。今後の社会生活においても避けずには通れない壁に直面した時にも自分で乗り越える力も身につくことと思います。ただし、なるべく多くの選手が試合を経験できるように練習試合等を組んでいきます。低学年からの入部では試合の機会に恵まれませんが、箕谷主催の3年生以下の大会がありチーム作りを始めます。3年生以下の低学年メンバーで試合経験ができるのも他チームとは大きく違うところです。

Q4：保護者のお手伝いがとても多いと聞いていますが？

（お茶当番、グラウンド整備、父母会など）

A4：箕谷少年野球部は現役選手の保護者を中心に、OB顧問が協力して運営する体制です。したがって保護者が参加しないと成り立ちません。ただし、原則保護者は「各自で出来る範囲の事をやっていただく」ということで役割を強制するものではありません。しかし、「保護者として全くお手伝いはしたくないが、子供を預けて野球やらせたい」と考える方には不向きかもしれません。

現在でも各家庭の状況で、役割の多い人と少ない人は混在していますが、その中でみんなが状況を考慮し助け合って運営をしています。箕谷・桂木地区はいろんな地

域から来られた方も多く野球部の縁で地域の方との知り合いも増え、コミュニケーションにも繋がり入部して良かったことの一つにも挙げられております。

現在の箕谷少年野球部は部員数も決して多くはありませんが、保護者の方々の協力で成り立っているのが現状だと思います。

Q5：お父さんもコーチとして参加しないといけないのですか？

A5：箕谷少年野球部では、お父さんは全員「コーチ」と呼ばれています。

仕事であまり出られない人もいますし、野球の実技を教えるのが苦手な人もいます。

技術的な要求を求めることは一切ありませんのでコーチ=技術指導者ではありません。

限られた時間でお手伝いして頂く方もおられますし、時間のある時は練習や試合を見ながら楽しんでいきます。全く野球経験の無いお父さんも多数おられますし実

技以外でもチームのサポート役とし十分に役に立っていただけます。参加しながら

コミュニケーションも生まれそこから子供と一緒に成長する少年野球のおもしろ

さに惹かれるお父さんも多いのは事実です。

また、OB選手の保護者である友寄顧問【プロ野球(日本野球機構)NPB審判長】の

審判講習会でプロ野球の現場の話を交えて貴重な体験もできます。

審判講習会でプロ野球の現場の話を交えて貴重な体験もできます。

Q6：子供は参加したがっているが、保護者がお手伝い出来ないで、他の方々にご迷惑がかかるのではと思い、入部をためらっています。

A6：すでに述べましたが、「保護者がお手伝いできない」ということはないと思えます。どんなに忙しい人や他の時間を有効に使いたい人でも「お手伝い出来る事」

は必ずあります。また、役割でも数名でやる事がありますので助け合いが出来ます。

箕谷少年野球部の活動は保護者の「自主運営組織」ですので、子供が他のご父兄のお世話になる場合、心配りは必要かと思いますが、できることをやっていただくのが原則です。子供が野球をやりたいという意欲がある場合は実現してあげようという考えで運営していますので、各学年の総務担当コーチにご相談ください。

**Q7：練習は保護者も見学できるのですか？付き添いは必要ですか？**

A7：もちろんいつでも見学できますし、積極的なお手伝いを歓迎します。

練習の付き添いは必要ありませんが、低学年のお子さんの送り迎えは保護者の方をお願いしています。ただし、試合で遠征した帰りなど解散時間が不確定な場合は、各選手の自宅までコーチが送り届けています。

**Q8：年間行事を教えてください。**

A8：練習は1月の2週目頃からスタートし、公式試合は2月下旬から11月下旬まで続きます。12月中旬の納会で一年を終了します。

部の公式行事は、1月新年会、マラソン大会、5月BBQ大会、8月キャンプ(1泊2日)、12月納会などが定例です。納会前には「親子野球対決」で卒部される方にはよい思い出づくりにもなりますし、各学年参加された保護者のコミュニケーション、強いては後々の地域のコミュニケーションづくりにもつながっています

**Q9：入部したらすぐにユニフォームを購入しないといけないのですか？**

A9：練習は安全のため帽子とユニフォームのズボン着用にしています。

試合は入部後すぐに出場選手登録しますのでユニフォームが必要になってきます。

入部時に総務担当コーチにご相談ください(卒部生の古いものでよければ若干数ですが、用具その他含めてご用意できる物もあります)。

Q 1 0 : 入部は学年が若いほど良いと聞いていますが。

A 1 0 : 原則的にはその通りですが、子供達の成長には個人差がありますし野球が全てではありません。子供が本音で野球をやりたいと思うときが最適な入部時期だと思います。ただし、ルールを覚えたり、チームプレーを覚えるのには少し時間がかかるのが野球というスポーツの特性のようです。

箕谷少年野球部は小学 1 年生から入部を受け付けています。

以上ですが、疑問点は何でも気軽にお尋ねください。

毎週の活動はホームページやフェイスブックにも詳しく掲載されていますので参考にご覧ください。

ホームページアドレス: <http://www.minotani-baseball.com/>

フェイスブック: 箕谷少年野球部で検索願います。

お問合せ連絡先: [info@minotani-baseball.jp](mailto:info@minotani-baseball.jp)

体験練習参加もしくは練習・試合の見学等の問い合わせもメールにてご相談下さい。

(平成 29 年 1 月 1 日作成)